

2018年度 ルーテル学院大学公開講座

—市民と学生が共に学ぶ大学講座—

○募集人員

各講座若干名（申込多数の場合は、締切前に申込みをお断りすることもあります）

○受講料

前期・後期・集中開講科目（1科目5,000円）〈開講数半期12～15回（科目によって異なる）〉

○申込み受付期間

前期期間申込受付期間：3月12日（月）～4月2日（月）※

（集中講義は、前期申込受付期間のみの受付になります。）

後期期間申込受付期間：8月1日（水）～8月31日（金）※

※期日までに申込書と受講料が共に確認できて申し込み完了となります。

大学窓口でお申込みの方：申込受付時間：9：00～16：30 [11：45～12：45を除く]

[土日祝日、夏期休業期間中（8/13（月）8/14（火））は受付していません。]

郵送にてお申込みの方：上記受付期間中必着で、申込書をご送付ください。

三鷹ネットワーク大学窓口でも申し込みできます。詳細は別紙をご覧ください。

また受講料は受付期間中にお振込み願います。

○公開講座お問合わせ先（申込書送付先）

学生支援センター

〒181-0015 東京都三鷹市大沢3-10-20

Tel 0422-31-4682 Fax 0422-33-6405

※

JR「武蔵境駅」南口より小田急バス [吉01] [境91]

[境93] に乗り8分。「西野」下車徒歩3分。

京王線「調布駅」北口より [境91] [鷹51] に乗り20分。

「西野」下車徒歩3分。

※車での来校はお断りします。

○その他

- ・講義は正規学生と共に受けていただきます。講座によっては、ロールプレーなどの参加型のものもあります。
- ・学内のルールを守られない方や正規学生及び他の受講生、教職員への迷惑行為をされた方は、期間途中でも受講をお断りいたします。
(受講料の返金はありません)
- ・正規学生が5人未満の講義は、閉講になる場合がありますのでご了承ください。
- ・講座によっては、講師の都合（学会・出張等）で休講になり、別の日程で補講をおこなう場合があります。また受講人数等の調整で教室が変更となる場合があります。これらは、公開講座掲示板でお知らせいたしますので毎回必ずご確認をお願いします。
- ・授業を欠席する場合は、事後で結構ですので直接ご自分で教員にご連絡下さい。また授業のレジメ等の取り置きは、事務局ではいたしておりませんのでご了承ください。
- ・駐車場がありませんので、車での来校・通学はお断りしております。
- ・自転車で来校される場合は、学生支援センターの窓口で駐輪許可シールを配布していますのでこちらを自転車に貼ってください。
- ・講座の見学制度は設けておりませんので、予めご了承ください。
- ・一旦申し込まれた講座の変更は、原則としてできません。(受講料の返金はありません)

【キリスト教学部門】

	公開講座名 (担当講師)	講座内容	期間/曜日/時間
前期	日本における死生学 石居基夫 (ルーテル学院大学教授 /日本ルーテル神学校校長)	日本の伝統的の死生観の形成を歴史的な視点からさぐります。「死」と「生」についての日本的霊性が聖書の霊性とどのように出会うのでしょうか。(日本における死生学)	4/13~7/27 毎週金曜日 16:30~18:00
	ルターと近代 江口再起 (ルーテル学院大学教授)	ルターと近代、ルターと音楽、美術、文学、そして社会との関わりについて考えます。 (人間・文化とキリスト教Ⅰ)	4/13~7/27 毎週金曜日 13:10~14:40
	キリスト教の人間観Ⅰ ジェームス・サック (ルーテル学院大学教授)	いろいろな角度から人間が抱えるジレンマと向きあいます。講義や小グループで議論し、ジレンマを解決する方法を考え、その選択肢を学びます。(キリスト教の人間観Ⅰ)	4/12~7/26 毎週木曜日 10:30~12:00
	『旧約聖書』ってどんな書物 徳野昌博 (ルーテル学院大学非常勤講師)	『旧約聖書』は三十九文書。書き手の職業も、生きた時代も、置かれた状況も大きく異なる。それでも「一つの書物」。その不思議を探ろう。(聖書入門Ⅰ(旧約))	4/12~7/26 毎週木曜日 16:30~18:00
	美術史への招待 真下弥生 (ルーテル学院大学非常勤講師)	古今東西の美術作品を幅広く、スライドを使用し、時に大学周辺をフィールドワークして鑑賞しながら、歴史的背景・描写・技法等を多角的に分析することで、「見る」行為を再考し、深めていきます。(美術史)	4/11~7/18 毎週水曜日 13:10~14:40
後期	キリスト教と死生学 石居基夫 (ルーテル学院大学教授 /日本ルーテル神学校校長)	キリスト教における「死と生」に対する神学思想の歴史的展開を追います。聖書の「死と復活」の信仰は日本人に何を教えるのでしょうか。(キリスト教と死生学)	9/14~1/18 毎週金曜日 16:30~18:00
	原子力と人間 江口再起 (ルーテル学院大学教授)	人間文化の「最高」の成果、それが原子力です。しかし、人類と原子力は共存できるだろうか。原子力の問題をキリスト教の視点で考える。(人間・文化とキリスト教Ⅱ)	9/14~1/18 毎週金曜日 13:10~14:40
	キリスト教の人間観Ⅱ ジェームス・サック (ルーテル学院大学教授)	いろいろな角度から人間が抱えるジレンマと向きあいます。講義や小グループで議論し、ジレンマを解決する方法を考え、その選択肢を学びます。(キリスト教の人間観Ⅱ)	9/20~1/17 毎週木曜日 10:30~12:00
	五感のクリスチャン・スピリチュアリティ ジェームス・サック (ルーテル学院大学教授)	理論について学ぶだけでなく、スピリチュアリティを日常生活でどのように用いることが出来るかについても体験的に学びます。 (五感のクリスチャン・スピリチュアリティ)	9/19~1/16 毎週水曜日 13:10~14:40

申込終了

【キリスト教学部門】

公開講座名（担当講師）	講 座 内 容	期間/曜日/時間
『新約聖書』ってどんな書物 徳野昌博 （ルーテル学院大学非常勤講師）	『新約聖書』、キリスト教の経典として、イエス・キリストや教会について語っているが、いろいろな人間が登場し、実におもしろい。 （聖書入門Ⅱ（新約））	9/20～1/17 毎週木曜日 16：30～18：00
キリスト教と美術 真下弥生 （ルーテル学院大学非常勤講師）	キリスト教に関わる美術作品を、草創期から現代美術まで幅広くスライドで鑑賞しながら、美術と宗教の関係、歴史的背景や表現形式の変遷、キリスト教文化との相互の影響などを検討します。 （キリスト教美術特講）	9/19～1/16 毎週水曜日 13：10～14：40

※講座内容の文末の（ ）は通常の開講授業名です。

【社会福祉学部門】

公開講座名（担当講師）		講 座 内 容	期間/曜日/時間	
前 期	地域福祉の考え方と発展過程及び地域福祉の主体 市川一宏（ルーテル学院大学学長）	地域で安心して、その人らしく暮らすことの実現をめざす「地域福祉」の基本的考え方や、地域福祉の発展過程と現在、これからの地域福祉実践の原理、住民・ボランティア・NPO・社会福祉法人・行政・社協の役割について学びます。（地域福祉論Ⅰ）	4/11～7/18 毎週水曜日 8：50～10：20	
	子どもの福祉と家族 加藤 純（ルーテル学院大学教授）	育児不安や虐待、親の離婚、アルコール問題、不登校など、子どもの幸せや子育てに関わる課題について理解を深めます。（児童福祉の諸問題）	4/10～7/17 毎週火曜日 8：50～10：20	
	障害者福祉の諸問題 高山由美子（ルーテル学院大学教授）	障がためいて（障	実現し、継続していく、教育のあり方等についていきます。	4/12～7/26 毎週木曜日 13：10～14：40
	社会福祉と国際協力 原島 博（ルーテル学院大学教授）	国際協力の考え方を歴史的に踏まえて、今日の国際協力の枠組みと実際から国際協力のあり方を学びます。（社会福祉と国際協力）	4/10～7/17 毎週火曜日 8：50～10：20	
	高齢者福祉の諸問題 山口麻衣（ルーテル学院大学教授）	日本の超高齢社会における、孤立、家族介護を含む介護の問題、認知症高齢者、経済的貧困等の現状と課題を学びます。（高齢者福祉の諸問題）	4/13～7/27 毎週金曜日 10：30～12：00	
後 期	地域福祉の推進方法と災害と地域福祉 市川一宏（ルーテル学院大学学長）	コミュニティソーシャルワーク、地域ニーズ把握の方法、地域福祉の計画化、社会資源の活用・調整・開発、地域生活を支える地域福祉サービス、福祉サービスの評価と質の確保、地域福祉財源、災害と地域福祉について学びます。（地域福祉論Ⅱ）	9/19～1/16 毎週水曜日 8：50～10：20	
	ケースワークの基礎 浅野貴博 （ルーテル学院大学専任講師）	個人や家族への援助について講義と演習を通して学びます。相談援助のための基礎的な面接技術や展開過程などを学びます。（ソーシャルワーク論Ⅱ）	9/14～1/18 毎週金曜日 8：50～10：20	
	ターミナルケアとグリーフワーク コーディネーター 加藤 純（ルーテル学院大学教授）	終末期ケア、悲嘆作業、人の尊厳、存在価値について、社会、心理、精神、スピリチュアル、芸術、物理、身体的側面等から各専門家と共に探究します。（ターミナルケアとグリーフワーク）	9/26～1/16 （この期間内の 不定期水曜日） 14：50～18：00	

申込終了

【社会福祉学部門】		
公開講座名（担当講師）	講座内容	期間/曜日/時間
年金・医療・介護保険 金子和夫（ルーテル学院大学教授）	急速な少子・高齢社会の進展に伴い、年金・医療・介護保険は数年ごとに大きな改正が実施されており、その内容と課題を考えます。 （社会保障論Ⅱ）	9/20～1/17 毎週木曜日 14：50～16：20
家庭生活と法律 金子和夫（ルーテル学院大学教授）	家庭生活に大きな関わりをもつ民法は、男女平等や少子高齢化社会の中で変容をみせています。新聞記事などにより授業をすすめます。（権利擁護と成年後見制度）	9/20～1/17 毎週木曜日 16：30～18：00
障害者福祉論 高山由美子（ルーテル学院大学教授）	障がい福祉の理念・歴史をふまえ、障がい児・障がい者福祉に関する法制度と実践の現状を学び、今日的課題について共に考えていきます。（障害者福祉論）	9/20～1/17 毎週木曜日 10：30～12：00
精神に障害を持つ人へのソーシャルワーク 福島喜代子（ルーテル学院大学教授）	心に病を持つ人の支援を包括的に行うのがソーシャルワークです。個人、グループ、家族、地域への支援などを総合的に学びます。 （精神保健福祉の理論と相談援助の展開）	9/20～1/17 毎週木曜日 10：30～12：00
グループワークの基礎と実際 福島喜代子（ルーテル学院大学教授）	2人以上の人がいるときに行う対人援助について学びます。グループの力動、グループの実践原則、展開過程などを学び、演習へ参加していただきます。（ソーシャルワーク論Ⅲ）	9/20～1/17 毎週木曜日 8：50～10：20
高齢者福祉論 山口麻衣（ルーテル学院大学教授）	介護保険、保健、医療、住宅、経済保障、就労、社会参加、生涯学習等の施策を総合的に学習し、高齢者福祉施策の課題を学びます。 （高齢者福祉論）	9/19～1/16 毎週水曜日 13：10～14：40

【臨床心理学部門】		
公開講座名（担当講師）	講座内容	期間/曜日/時間
臨床心理学概論 植松晃子（ルーテル学院大学准教授）	臨床心理学の基礎理論である「精神分析」を中心に、「分析心理学」、「行動療法」、「来談者中心療法」について学びます。 （臨床心理学概論）	4/11～7/18 毎週水曜日 8：50～10：20
前期 交流分析 白井幸子（ルーテル学院大学名誉教授）	交流分析の理論によって創始された「人間関係論」です。実際的な日常語を用いて人間の複雑な心理を具体的に分かりやすく説明しています。自己理解・他者理解に役立ちます。（交流分析）	4/12～7/26 毎週木曜日 16：30～18：00

申込終了

後期	子どものプレイセラピー 加藤 純 (ルーテル学院大学教授)	言語や非言語、遊びを通した子どもとのコミュニケーションの取り方について、優れた先例の検討やロールプレイにより学びます。 (子どものプレイセラピー)	9/14~1/18 毎週金曜日 10:30~12:00
	子どものこころのケア 加藤 純 (ルーテル学院大学教授)	大切な人との別れなど喪失を体験した子どもへのこころのケア (グリーフワーク) や虐待と言われる状況での子どもや家庭への支援について実践事例やロールプレイにより学びます。 (子どものグリーフワーク・虐待への対応)	9/19~1/16 毎週水曜日 8:50~10:20
集中	こころとからだの リラクゼーション方法を学ぶ 田副真美 (ルーテル学院大学教授)	ストレスに関する知識と心身関連の理解を深め、心理療法の1つである自律訓練法の標準練習を習得し、日常生活に活用できるようにします。(自律訓練法)	8/7 (火) 8:50~16:20 8/8 (水) 8:50~16:20
	※講座内容の文末の () は通常の開講授業名です。		

附属ルター研究所公開講座

	公開講座名 (担当講師)	講座内容	期間/曜日/時間
前期	ルター概論 江口再起 (ルーテル学院大学教授)	宗教改革者ルターの人と神学について分かりやすく学びます。具体的なルターの著作も紹介しつつ、その神学的な特徴を学ぶルター入門講座です。(ルターと聖書)	4/13~7/27 毎週金曜日 14:50~16:20
後期	ルターとルーテル教会 石居基夫 (ルーテル学院大学教授) /日本ルーテル神学校校長) 宮本 新 (ルーテル学院大学専任講師)	ルターの「教会」理解をはじめに学び、現代に至るルーテル教会の歴史とその中に見出される多様な教会のあり方を学びます。 (ルーテル教会)	9/19~1/16 毎週水曜日 8:50~10:20
※講座内容の文末の () は通常の開講授業名です。			

ルター研究所公開講座お申込み・お問い合わせ先

*お申込み方法、及びお申込み先はルーテル学院大学公開講座と同様になります。

ルター研究所公開講座へのお問い合わせにつきましては、所員が常駐しておりませんので、学生支援センターにてご用件をお伺いし改めて担当者より回答いたします。多少お時間をいただく場合がありますのでご了承ください。

(教学担当: TEL 0422-31-4682)